

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	情報通信工学実験C		
英文授業科目名	Information and Communication Engineering Laboratory C		
開講年度	2005年度	開講年次	4年次
開講学期	7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	C全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
卒業研究を始めるために必要な知識・技術を十分に身に付けることを目標とする。 それぞれの研究に特化した基礎技術、知識を4年次の前学期に実験等を通して学ぶ。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
卒研着手条件を満たし、かつ、研究室に配属されていること。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
指導教員が指定。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
3年までの授業、演習、実験で情報通信工学に関する一通りのことは学ぶ。しかし、この分野の幅は非常に広く、卒業研究を始めるためには3年までに習ったこと以外に、それぞれの研究に特化した基礎技術、知識を学ぶ必要がある。英語で書かれた論文を読みこなす能力も必要である。配属の決まった各研究室において、卒業研究指導教員の指示に従い、卒業研究に必要な基礎技術、知識を勉強する。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実験報告書を提出する。また、勉強した内容を卒業研究の中間発表会と兼ねて一人ずつ発表する。そのときに概要をまとめたものも提出する。これらと指導教員の判断を総合して成績を決める。

### 【オフィスアワー：授業相談】

指導教員が指定。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】

- ・平成13年度以前の入学生の「情報通信工学実験第三」に対応
- ・平成14年度、15年度の入学生対象
- ・平成16年度以降の入学生に対しては、この科目は「情報通信工学演習」と名称が変わる